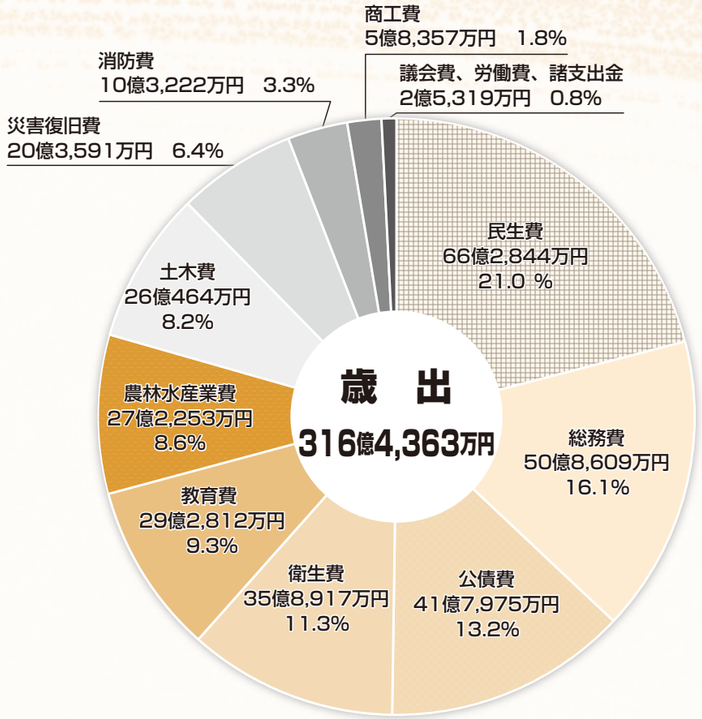
令和4年度 決算報告

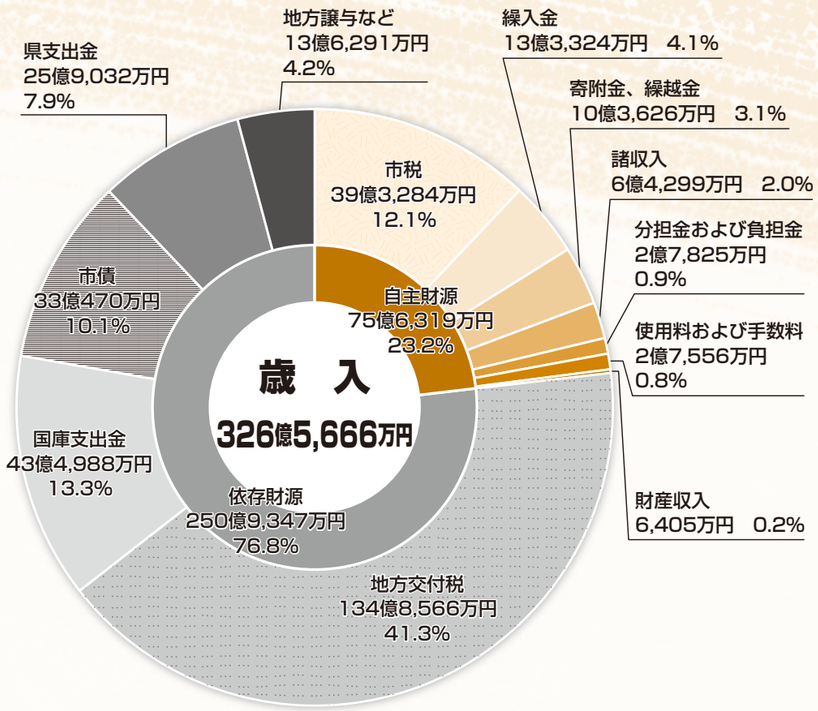
令和4年度の決算が9月議会で認定されましたのでお知らせします。

一般会計決算では、歳入決算額が326億5666万円（対前年度比0・6％減）、歳出決算額が316億4363万円（同1・6％減）で、歳入歳出差引残額が10億1303万円となりました。なお、翌年度に繰り越すべき財源は3億9536万円であり、実質収支6億1767万円の黒字となりました。

問い合わせ先
財政課
TEL0854-40-1023

一般会計





基金残高

積立金現在高		100億9,036万円
	財政調整基金	14億4,027万円
	減債基金	39億6,305万円
	その他特定目的基金	46億8,704万円
地方債現在高		367億5,340万円

※普通会計における決算額

特別会計

会計＼区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
国民健康保険事業	41億8,733万円	41億7,593万円	1,140万円
後期高齢者医療事業	11億9,536万円	11億8,422万円	1,114万円
㊟ 農業労働災害共済事業	213万円	212万円	1万円
生活排水処理事業	12億1,667万円	12億1,490万円	177万円
財産区	25万円	25万円	0万円

㊟は一般会計と合わせて普通会計に含まれる特別会計。

監査委員の審査意見書から

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応の一方、災害復旧事業をはじめCATV施設FTTH※整備事業、文化施設修繕事業などの大規模事業が実施された。

人口減少や少子高齢化対策、交流センターを拠点とした地域づくり活動の推進、公共施設の老朽化への対応、道路や橋梁維持の予算確保など、これらの多くの課題を解決し、市民の暮らしを守っていくことは、健全な財政基盤があってはじめて可能となる。

一般的に財政調整基金は、標準財政規模の10％以上が適正と言われているが令和4年度末時点で8.5％と下回っている。将来の収支不足を見据え適正規模の基金額を確保するため、事業全般にわたって見直しを行い歳出削減に取り組むとともに、発行期限が令和6年度の合併特例債等、有利な財源の活用や新たな財源確保を図り、多様な行政課題解決に努められたい。

行財政改革の一環である公共施設等の将来費用の縮減、財政規模に見合った施設等の運用とサービス確保については、公共施設等総合管理計画実施方針に基づき具体的な見直しに取り組まれている。この取り組みにあたっては、財産台帳システムの充実により情報の一元化に努めることも必要である。

近年、地方自治体の業務が多様化・複雑化してきている。雲南市においても業務量が増大し、不適切な事務処理や誤り、停滞が危惧される。組織として事務上のリスクを評価・コントロールし事務の適正な執行を確保するため、内部統制の制度化について検討されたい。

終わりに、財政健全化への取り組みにあたっては、市民への説明責任を果たしながら、公平かつ簡素で効率的な行財政システムの構築に努め、最小の経費で最大の効果が上がる財政運営を推進し、市民福祉の向上と市勢の発展に努められることを望むものである。

※通信サービスで、基地局から各家庭まで光ファイバーをつなげる配線方式。

令和4年度に実施した主な事業

令和3年7月豪雨災害復旧関連事業
- 公共土木施設災害復旧事業…… 11億8,545万円
- 農地・農業用施設災害復旧事業 …5億9,294万円
- 林道災害復旧事業…… 2,435万円
- 林地崩壊防止事業……5億1,373万円

新型コロナウイルス感染症対策関連事業
- 雲南市飯南町事務組合負担金（FTTH整備事業）……7億1,482万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金……1億1,214万円
- 電力・ガス・食料品等の価格高騰臨時特別給付金……1億5,200万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付関連事業…… 5,030万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種関連事業……2億2,874万円
- 飲食・タクシー業消費喚起支援事業…… 3,297万円

その他
- 地域づくり活動等支援事業……2億9,205万円
- 市民バス運行管理事業……1億6,293万円
- 介護給付費等事業…… 10億7,574万円
- 子ども医療事業……1億3,144万円
- 雲南市飯南町事務組合負担金（清掃事業）…… 6億15万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業……2億8,922万円
- 雲南加茂スマートインターチェンジ整備事業……3億8,536万円
- 除雪総務管理事業……2億2,980万円
- 小中学校教育用パソコン管理事業……1億3,380万円
- 文化施設修繕事業……3億7,570万円

など

主な財政指標

下段（　）は令和3年度

項目		数値	説明
健全化判断比率	実質赤字比率	該当なし（該当なし）	一般会計等（普通会計）を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.65%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
	連結実質赤字比率	該当なし（該当なし）	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、17.65%以上で財政健全化団体に、30%以上で財政再生団体となります。
	実質公債費比率	10.9%（11.1%）	公債費の水準を測る指標です。一般会計等（普通会計）が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が 25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
	将来負担比率	95.7%（98.0%）	地方債の残高をはじめ一般会計等（普通会計）が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率		該当なし（該当なし）	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。
財政力指数		0.253（0.251）	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことになります。
経常収支比率		97.0%（94.3%）	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を表しています。
地方債現在高比率		217.8%（214.0%）	標準財政規模に対する地方債（長期に渡り返済する借金）の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。

令和4年度 決算報告 ―公営企業会計

雲南市議会9月議会で認定された令和4年度公営企業会計決算をお知らせします。

水道事業

収益的収入（料金収入など）
および支出（施設維持管理費など）

令和5年3月末時点の給水戸数は1万5006件、令和4年度の総有収水量（料金収入の対象となった給水量）は339万2328㎥でした。総有収水量を前年度と比較すると2万654㎥（0・6%）の減少となりました。

総収益は、13億8833万円、総費用は、12億168万円で1億665万円の純利益を計上しました。総収益のうち水道料金は8億936万円で、総収益の61・9%を占めています。前年度と比較して総収益は0・1%増加、総費用は1・8%減少しています。

供給単価（有収水量1㎥当たりの給水収益）は238円59銭、給水原価（水道水1㎥当たりの経費）は298円23銭で、料金回収率は80・0%となりました。

資本的支出（建設改良工事など）

資本的支出総額は7億7177万円で、うち建設改良費は2億6573万円、企業債償還額は5億604万円でした。主な建設改良事業として、大東町の山王寺本郷地区水道整備事業の工事を行いました。生活基盤施設耐震化等交付金などを活用し、老朽管路の更新や耐震化、水道施設台帳システムの構築を行いました。

工業用水道事業

収益的収入（料金収入など）
および支出（施設維持管理費など）

工業用水道の年間契約水量は6万550㎥、超過水量は125㎥でした。

総収益は591万円、総費用は295万円で、2364万円の赤字となり、前年度までの繰越欠損金と合わせ、5501万円の未処理欠損金を計上しました。

資本的支出

資本的支出の総額は3347万円で、全額企業債償還金でした。

下水道事業

収益的収入（料金収入など）
および支出（施設維持管理費など）

令和4年度より農業集落排水施設の鍋山処理区を公共下水道に統合したことにより、令和5年3月末時点の排水件数は5706件、令和4年度の総排水量は156万6894㎥でした。総排水量を前年度と比較すると12万2550㎥（8・5%）の増加となりました。

総収益は、10億3532万円、総費用は、8億8748万円で1億4784万円の純利益を計上しました。前年度からの繰越利益剰余金と合わせた未処分利益剰余金1億5511万円のうち、1億1108万円は資本的収支の不足額の補てん財源として使用しています。総収益のうち下水道使用料は2億5046万円で、総収益の24・2%、一般会計からの繰入金が5億854万円で49・1%を占めています。前年度と比較して総収益は7・3%増加、総費用は7・1%増加しています。

使用料単価（有収水量1㎥あたりの使用料収入）は172円83銭、汚水処理原価（汚水1㎥当たりの経費）は612円40銭で、経費回収率は28・2%となりました。

資本的支出（建設改良工事など）

資本的支出総額8億4615万円で、うち建設改良費は1億2122万円、企業債償還額は7億2492万円でした。主な建設改良事業として、長寿命化を図るための施設更新工事を行いました。また、引き続き、施設の統廃合事業として農業集落排水施設の加茂北処理区、大竹処理区、多久和処理区を公共下水道へ接続するための事業に取り組みました。

令和4年度 雲南市下水道事業会計損益計算書
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（税抜き）

営業収益	3億 456万円
営業外収益	7億3,076万円
経常収益 ①	**10億3,532万円**
営業費用	7億6,675万円
営業外費用	1億2,073万円
経常費用 ②	**8億8,748万円**
当年度純利益 (①-②)	**1億4,784万円**
前年度繰越利益剰余金	727万円
当年度未処分利益剰余金	1億5,511万円

令和4年度 雲南市工業用水道事業会計損益計算書
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（税抜き）

営業収益	455万円
営業外収益	136万円
経常収益 ①	**591万円**
営業費用	2,229万円
営業外費用	726万円
経常費用 ②	**2,955万円**
当年度純損失 (①-②)	**2,364万円**
前年度繰越欠損金	3,137万円
当年度未処理欠損金	5,501万円

令和4年度 雲南市水道事業会計損益計算書
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（税抜き）

営業収益	8億4,037万円
営業外収益	4億6,796万円
経常収益 ①	**13億 833万円**
営業費用	11億464万円
営業外費用	9,704万円
経常費用 ②	**12億 168万円**
当年度純利益 (①-②)	**1億 665万円**
前年度繰越利益剰余金	534万円
当年度未処分利益剰余金	1億1,199万円

令和4年度 雲南市下水道事業会計貸借対照表
（令和5年3月31日）

（税抜き）

固定資産	有形固定資産	150億5,077万円
流動資産	現金預金	2億1,533万円
	未収金	2,113万円
資産合計		**152億8,723万円**
固定負債	企業債	54億1,427万円
流動負債	企業債	7億1,537万円
	未払金	4,861万円
	引当金	233万円
	預り金	76万円
繰延収益	長期前受金	51億9,171万円
負債合計		**113億7,305万円**
資本金	資本金	34億2,216万円
剰余金	資本剰余金	2億 857万円
	利益剰余金	2億8,345万円
資本合計		**39億1,418万円**
負債・資本合計		**152億8,723万円**

令和4年度 雲南市工業用水道事業会計貸借対照表
（令和5年3月31日）

（税抜き）

固定資産	有形固定資産	3億4,918万円
流動資産	現金預金	8,500万円
	未収金	143万円
資産合計		**4億3,561万円**
固定負債	企業債	2億9,252万円
	引当金	2,394万円
流動負債	企業債	3,415万円
	未払金	22万円
繰延収益	長期前受金	1,691万円
負債合計		**3億6,774万円**
資本金	資本金	1億2,236万円
剰余金	資本剰余金	52万円
	利益剰余金	△5,501万円
資本合計		**6,787万円**
負債・資本合計		**4億3,561万円**

令和4年度 雲南市水道事業会計貸借対照表
（令和5年3月31日）

（税抜き）

固定資産	有形固定資産	136億9,172万円
	無形固定資産	2,448万円
流動資産	現金預金	20億2,416万円
	未収金	7,836万円
	貯蔵品	718万円
	前払金	1,388万円
資産合計		**158億3,978万円**
固定負債	企業債	47億6,782万円
	引当金	4,557万円
流動負債	企業債	4億6,942万円
	未払金	9,594万円
	引当金	1,242万円
	預り金	40万円
	その他流動負債	60万円
繰延収益	長期前受金	38億6,860万円
負債合計		**92億6,077万円**
資本金	資本金	51億9,571万円
剰余金	資本剰余金	7億4,391万円
	利益剰余金	6億3,939万円
資本合計		**65億7,901万円**
負債・資本合計		**158億3,978万円**

問い合わせ先
水道局総務課
TEL0854-42-3473

病院事業

収益的収入（医療費収入など）
および支出（給与費、材料費、経費など）

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）の感染拡大の影響により、外来患者は前年度より5002人多い10万1248人を受け入れました。一方で、新型コロナ患者病床確保および感染拡大による入院制限を行ったことなどから入院患者数は前年度より4850人減少の7万6654人となりました。医業収益は、外来収益等の増により前年度より1億5719円増加し40億4321万円となりました。医業費用については、給与費、材料費、経費等の増加により、前年度より3億1935万円増の51億8462万円となりました。

訪問看護事業については、収益は前年度より938万円の増収、費用は439万円増額となりました。掛合診療所については、収益は前年度より2122万円の減収、費用は1596万円減額となりました。

新型コロナ対応に係る国からの補助金も受け、全体の総収益は56億7807万円、総費用は55億9431万円となり、8376万円の経常利益および当年度純利益を計上しました。また、単年度内部留保資金は5億9297万円の蓄積が図れ、繰越内部留保資金は32億5509万円となりました。

資本的支出（建設改良費等）

資本的支出の総額は4億2138万円で、うち建設改良費は5453万円、企業債償還額は3億6685万円でした。建設改良事業は、安全安心かつ良質な医療提供を行うため医療機器の新規購入や更新を継続的に行います。令和4年度は、大腸CT検査腸管拡張装置の新設や血液ガス分析装置の増設、自動視野計の更新等を行いました。

業務量

1．病床数　281床
一般病床155床（感染症2床含む）、地域包括ケア病床48床（感染症2床含む）、
回復期リハビリ病床30床、医療療養病床48床

2．延患者数、1日平均患者数、病床稼働率

区分		延患者数（人）			1日平均患者数（人）			病床稼働率（%）		
		令和3年度	令和4年度	増減	令和3年度	令和4年度	増減	令和3年度	令和4年度	増減
入院	一般	51,518	49,396	▲2,122	141.1	135.3	▲5.8	91.1	87.3	▲3.8
	包括ケア	5,067	3,055	▲2,012	13.9	8.4	▲5.5	28.9	17.4	▲11.5
	回復リハ	10,971	10,760	▲211	30.1	29.5	▲0.6	100.2	98.3	▲1.9
	医療療養	13,948	13,443	▲505	38.2	36.8	▲1.4	79.6	76.7	▲2.9
	入院計	81,504	76,654	▲4,850	223.3	210.0	▲13.3	79.5	74.7	▲4.8
外来	病院	96,246	101,248	5,002	397.7	416.7	19.0	－	－	－
	診療所	7,204	6,936	▲268	34.1	34.6	0.5	－	－	－
	外来計	103,450	108,184	4,734	431.8	451.3	19.5	－	－	－

財務諸表

令和4年度 雲南市病院事業会計 損益計算書
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（税抜き）

医業収益	40億4,321万円
医業外収益	14億7,195万円
訪問看護収益	7,484万円
診療所収益	8,807万円
経常収益 ①	**56億7,807万円**
医業費用	51億8,462万円
医業外費用	2億5,665万円
訪問看護費用	6,569万円
診療所費用	8,735万円
経常費用 ②	**55億9,431万円**
経常利益 ③（①－②）	**8,376万円**
特別利益 ④	0万円
特別損失 ⑤	0万円
当年度純利益（③＋④－⑤）	**8,376万円**
前年度繰越欠損金	10億2,755万円
当年度未処理欠損金	9億4,379万円

令和4年度 雲南市病院事業会計 貸借対照表
（令和5年3月31日）

（税抜き）

固定資産	有形固定資産	86億4,703万円
	投資その他の資産	4億9,100万円
流動資産	現金預金	25億3,350万円
	未収金	10億 836万円
	貯蔵品他	4,327万円
資産合計		**127億2,316万円**
固定負債	企業債	91億2,047万円
流動負債	企業債	5億3,988万円
	未払金	1億8,869万円
	引当金	1億7,063万円
	その他流動負債	1,979万円
繰延収益	長期前受金	7億 821万円
負債合計		**107億4,767万円**
資本金	資本金	29億1,928万円
剰余金	利益剰余金	▲9億4,379万円
資本合計		**19億7,549万円**
負債・資本合計		**127億2,316万円**

問い合わせ先
雲南市立病院 経営課
TEL0854-47-7502